



東北地域の和食文化メールマガジン

令和6年4月2日（火）第60号



【目次】

1. 東北農政局 「食べて応援しよう！in 仙台 2024」を開催しました
2. 農林水産省 令和5年度「にっぽん伝統食図鑑」公開
3. 農林水産省 「農泊インバウンド受入促進重点地域」28地域を選定
4. 文化庁 「100年フード」の追加認定
5. 北陸農政局 北陸の食文化を食べて応援しよう
6. 和食文化国民会議 特別展「和食～日本の自然、人々の知恵～」開催のお知らせ（山形・宮城）
7. 農林水産省 小学生・中学生向け「農業学習」コンテンツを公開
8. 農林水産協会 「第1回ご当地おむす美大賞」結果発表
9. 農林水産省 餃子から日本を考える。「すべては餃子になる餃子レシピ」を公開
10. 農林水産省 国産果物の消費拡大に関するポスターデザイン募集
11. 食品産業センター 「優良ふるさと食品中央コンクール」受賞食品発表
12. 山形県 「第1回おいしい米粉パンコンテスト」入賞商品発表
13. 農林水産省 「aff」3月号について

- =====
1. 東北農政局 「食べて応援しよう！in 仙台 2024」を開催しました

=====

東日本大震災の被災地支援の一環として東北農政局主催による「食べて応援しよう！in 仙台 2024」が3月16日（土）・17日（日）に仙台市内の勾当台公園市民広場で開催されました。

当日は、震災で大きな被害があった岩手・宮城・福島県産の農林水産物や加工品など美味しいお店が集まり、天候にも恵まれたことから14,100人（推計）の来場がありました。

会場では、食の応援大使「みちのく仙台 ORI☆姫隊」や奥州仙台おもてなし集団「伊達武将隊」のほか多数の出演者と御当地キャラクター達もステージイベントで盛り上げ、復興を応援して頂きました。

【東北農政局 HP】詳細はこちらから→

<https://www.maff.go.jp/tohoku/syokuryou/syokubunka/tabeteouen.html#tabeteouen>

- =====
2. 農林水産省 令和5年度「にっぽん伝統食図鑑」公開
- =====

農林水産省では、令和5年度に実施した11道府県の加工食品を基本とし、歴史性・地域性があるものや伝統的な製法を用いている伝統食を選定し、「にっぽん伝統食図鑑」に掲載しました。

「にっぽん伝統食図鑑」では、各地域で選定された伝統食のいわれ・歴史やレシピ等、また、伝

統食を生んだ地域の背景等についてのデータベースを作成し、情報発信します。

東北からは宮城県と山形県の加工食品が紹介されています

【農林水産省 HP】詳細はこちらから→

<https://traditional-foods.maff.go.jp/>

3. 農林水産省 「農泊インバウンド受入促進重点地域」28 地域を選定

農林水産省は、農泊地域への訪日外国人旅行者（インバウンド）の更なる受入促進に向け、これまで農泊に取り組んできた地域の中から、「農泊インバウンド受入促進重点地域」28 地域を選定しました。

東北からは、以下の3地域が選定されました。

岩手県奥州市「ころもがわ農泊地域協議会」

宮城県石巻市「牡鹿半島浜泊推進協議会」

秋田県仙北市「一般社団法人 仙北市農山村体験推進協議会」

【農林水産省 HP】詳細はこちらから→

<https://www.maff.go.jp/j/press/nousin/kouryu/240229.html>

4. 文化庁 「100年フード」の追加認定

文化庁では、我が国の多様な食文化の継承・振興への機運を醸成するため、地域で世代を超えて受け継がれてきた食文化を、100年続く食文化「100年フード」と名付け、文化庁とともに継承していくことを目指す取組を推進しています。

3回目となる令和5年度は50件が追加認定され、特に有識者から評価が高かった5件が有識者特別賞となりました。

東北の令和5年度「100年フード」追加認定は以下のとおり

青森県：十和田バラ焼き、黒石つゆやきそば

宮城県：おぼろ汁、白石温麺、石巻焼きそば

秋田県：西馬音内（にしもない）そば、いぶりがっこ、こさかまちかつらーめん

山形県：冷たい肉そば

福島県：高田梅漬け、郡山ブラック、塩川鳥モツ

有識者特別賞に白石温麺といぶりがっこが選ばれました。

【外部リンク】 「100年フード」及び「食文化ミュージアム」の詳細はこちらから→

https://www.bunka.go.jp/koho_hodo_oshirase/hodohappyo/94013401.html

【外部リンク】全国各地の100年フード都道府県別一覧

<https://foodculture2021.go.jp/jirei/?area=hokkaido>

5. 北陸農政局 北陸の食文化を食べて応援しよう

令和6年能登半島地震に際して、北陸管内、特に能登地区の食に携わる企業が大きな被害を受け

ました。

北陸農政局では、北陸の伝統的な食文化の発信とその食文化に関わる企業を間接的に応援するため、「北陸の食文化 食べて応援しよう」の取組みとして、北陸の郷土料理や伝統食などを紹介したパンフレットを北陸農政局のホームページに掲載しました。

パンフレットを参考に、是非、北陸各地を訪れて北陸の食文化をご堪能下さい。

一部、震災で入手が難しい食品もあります。オンラインショップなどを活用し在庫をご確認ください。

【北陸農政局 HP】詳しくは、コチラ→

<https://www.maff.go.jp/hokuriku/food/wasyoku.html>

6. 和食文化国民会議 特別展「和食～日本の自然、人々の知恵～」開催のお知らせ（山形・宮城）

山形県鶴岡市のユネスコ食文化創造都市認定 10 周年を記念して、全国巡回する特別展「和食 ～日本の自然、人々の知恵～」が開催されます。

「和食」を、野菜やきのこ、魚などバラエティ豊かな食材の標本や食品サンプルなどで紹介します。

音声ガイドナビゲーターは白石麻衣さんです。

会期：令和 6 年 4 月 20 日（土）～6 月 16 日（日）

会場：鶴岡アートフォーラム（山形県鶴岡市）

観覧料：一般 700 円、高大生 420 円、中学生以下無料

音声ガイド付きチケット：一般 1,000 円、高大生 720 円

【外部リンク】山形会場の詳細はこちらから→

https://washoku2023.exhibit.jp/pdf/yamagata_flyer.pdf

宮城開催は、令和 6 年 7 月 6 日（土）～9 月 23 日（月）

会場は、東北歴史博物館

7. 農林水産省 小学生・中学生向け「農業学習」コンテンツを公開

農林水産省は、小学生・中学生の子供達を対象として、農業の歴史、農業遺産、農村の共同活動などの農村の大切な役割や魅力を学習することができる 4 つの教材を制作しました。

これらの教材は、全国の教育現場や御家庭で御利用いただけます。

小学生向け

【「草刈りは地球を救う」～SDGs 達成につながる農村の共同活動～】

【農業遺産で学ぶ「米づくり学習」カリキュラム案・授業案】（指導者用）

中学生向け

【農業遺産から見る地域の特色を生かした持続的農業・林業・水産業】

【ミーとトラ 瑞穂の国の大冒険～田んぼの軌跡をたどる旅～】

【農林水産省 HP】詳細はこちらから→

<https://www.maff.go.jp/j/press/nousin/kantai/240311.html>

=====

8. 農林水産協会 「第1回ご当地おむす美大賞」結果発表

=====

一般社団法人農林水産協会主催による「第1回おむす美大賞」に、福島市の小学2年生が考案した「ふくしまりんごおむす美」が大賞に選ばれました。

応募があった地域の特色ある食材や食文化を生かした創作おむすび884点の中から大賞に選ばれたのは、地元産のりんごを皮ごとカットして使い、爽やかな味わいに仕上げた作品です。

【外部リンク】詳細はこちらから→

<https://o1gp.jp/>

=====

9. 農林水産省 餃子から日本を考える。「すべては餃子になる餃子レシピ」を公開

=====

農林水産省は、食と農のつながりの深化に着目した国民運動「食から日本を考える。ニッポンフードシフト」を展開しています。

ニッポンフードシフト「餃子会議」特設サイト内に、料理研究家のリュウジさんが本企画のために開発した、国産の肉、海鮮及び野菜を使用した家庭で楽しく調理ができる「至高の餃子レシピ」3種を公開しています。

また、本レシピを基に農林水産省 公式YouTubeチャンネル BUZZ MAFF (ばずまふ) が「リュウジさんの餃子をつくってみよう！」動画を制作し、簡単にすぐ作ることができるリュウジさんの餃子を再現しています。

【外部リンク】詳細はこちらから→

<https://nippon-food-shift.maff.go.jp/gyoza/meeting/gyoza-recipe/>

【農林水産省 HP】BUZZ MAFFはこちらから→

<https://www.maff.go.jp/j/pr/buzzmaff/>

=====

10. 農林水産省 国産果物の消費拡大に関するポスターデザイン募集

=====

農林水産省では、果物を食べることの重要性を改めて認識いただくため、また、国産果物をもっと身近に感じていただくため、国産果物の消費拡大に関するポスターデザインを全国から広く募集しています。

果物が各種ビタミン、ミネラル及び食物繊維の摂取源として重要な食品であり、生活習慣病の予防の観点から適量を毎日の食生活に取り入れ食習慣となるよう、その定着を推進します。

募集期間：令和6年3月13日（水）～5月13日（月）

【農林水産省 HP】詳細はこちらから→

<https://www.maff.go.jp/j/press/nousan/ryutu/240313.html>

=====

11. 食品産業センター 「優良ふるさと食品中央コンクール」受賞食品発表

=====

一般財団法人食品産業センター主催による「令和5年度優良ふるさと食品中央コンクール」受賞食品が発表されました。

近年、消費者の健康、本物、ふるさと志向が強まる中、ふるさと食品の生産と消費を今後とも安定的に発展させるため、食品中央コンクールを実施しています。

今年度の東北受賞食品は以下のとおり

農林水産大臣賞：新製品開発部門・青森県 福土豆腐店「おから豆腐」

農林水産省大臣官房長賞：新製品開発部門・秋田県 株式会社白神屋「秋田県産牛 粗ほぐしコンビーフ」

山形県 農事組合法人庄内協同

ファーム「gnocco」

国産畜水産品利用部門・福島県 有限会社やない製麺「あおさ香る力めん」

一般財団法人食品産業センター会長賞：国産農林産品利用部門・岩手県 株式会社テクノボンズ「ジャパングレープシードオイル」

【外部リンク】受賞食品の詳細はこちらから→

<https://www.shokusan.or.jp/wp-content/uploads/2024/02/6411b5a1badb30a756359e459c43dc64.pdf>

12. 山形県 「第1回おいしい米粉パンコンテスト」入賞商品発表

=====

令和6年2月17日、米粉の消費拡大に向け山形県が開いた「おいしい米粉パンコンテスト in やまがた」の表彰式と入賞作品の即売会が県観光物産館「ぐっと山形」で行われ、大勢の来場者がパンを買い求めました。

全国15都府県の33事業者から84点の応募があり、食味や香り、外観や普及性など6項目を5段階で評価した結果、グランプリは山形県の「あおいそら」の「くるみレーズン」に決定しました。

【外部リンク】詳細はこちらから→

<https://yamagata-komeko.jp/komekopan2023/>

13. 農林水産省 「aff」 3月号について

=====

農林水産省の広報誌「aff」3月号の特集は、「ありが糖！スイーツ」です。

お笑いカルテット「ぼる塾」の田辺さんと日本あんこ協会会長・和菓子評論家にしいあんこさんとの特別対談では、甘美なお話を伺いました。

また、奇数月連載の未来へつなぐ和食は、料理人村田明彦さんにお話を聞いています。

【農林水産省 HP】「aff」1月号はこちらから→

<https://www.maff.go.jp/j/pr/aff/index.html> <https://www.maff.go.jp/j/pr/aff/index.html>

=====

問い合わせ先：東北地域の和食文化ネットワーク事務局 東北農政局経営・事業支援部食品企業課 担当：小田桐

TEL：022-263-1111（内 4570）

メールアドレス：keisyonw-tohoku@maff.go.jp

※東北地域の和食文化メールマガジンへの御意見・御要望をお待ちしております。

★農林水産省の Web サイト（和食文化ネットワーク）→

<https://www.maff.go.jp/j/keikaku/syokubunka/network/main.html>

☆東北農政局 Web サイト（和食文化ネットワーク）→

<https://www.maff.go.jp/tohoku/syokuryou/syokubunka/washokubunkanetwork.html>